

海外安全対策情報（2023年1月～3月）

在オークランド日本国総領事館

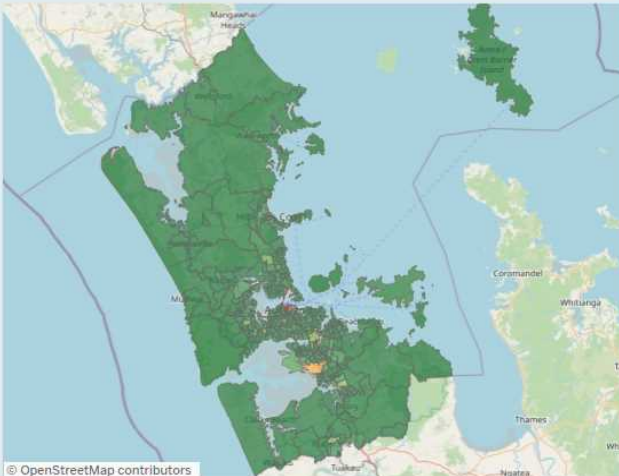
1 治安情勢・一般犯罪の傾向

（1）一般治安関係

NZでは、強盗（店舗に自動車で突っ込み強奪する「ラムレイド」を含む）や侵入窃盗（空き巣など）、車上ねらいや繁華街での暴行事件が多く発生しているため、防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織（いわゆるギャング）の抗争もしばしば勃発しており、これらに巻き込まれることのないよう、繁華街等では特に注意してください。また、電話等でお金を騙し取る特殊詐欺が多発していることから、不審な電話等には十分に注意してください。このほか、NZ国内では覚醒剤（メタンフェタミン）等の薬物組織犯罪が社会問題化していますので、留意してください。

（2）オークランドの犯罪傾向

2022年4月～2023年3月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています（注：表中、Previousと記された件数は、昨年同時期の事件件数）

Crime Type	Previous	Selected		Crime map (Select for details)
Assault	7,613	8,200	↑	
Sexual Assault	683	632	↓	
Abduction	58	67	↑	
Robbery	986	1,407	↑	
Burglary	20,692	21,431	↑	
Theft	57,937	67,856	↑	
Total	87,969	99,593	↑	

（3）最近の犯罪等

詳細はニュージーランド警察 HP をご覧ください。

<https://www.police.govt.nz/news/districts>

ア 薬物犯罪

2月8日、ニュージーランド警察は、税関や海軍と協力してハイドロス作戦を実施、太平洋沖において、3.2トンのコカインを回収。

2月13日、ニュージーランド警察は、多国籍組織犯罪グループ（TNOC）に対するセトラ

作戦を結果、オークランド市内でメキシコ国籍の男性を逮捕、約 50 万ドルと 14 キログラムのメタンフェタミンを押収した。今回押収されたメタンフェタミンの市場価格は 490 万 NZD になるとされる。

イ 一般犯罪

1 月 4 日、ハミルトン市で武装した 4 名による小売店に対する強盗事件が発生、その後犯人が逮捕されたが、複数強盗事件や自動車窃盗に関与していることが判明した。

3 月 12 日、オークランド市グラフトンの野外駐車場において、暴行された男性の遺体が発見された。その後、32 歳の女が逮捕された。

ウ 邦人が巻き込まれた事件・事故

オークランド市エプソン、マウント・ロスキルなどにおいて、日本人宅において空き巣被害が発生しているほか、パスポートの盗難被害等が発生。

（４）防犯のための具体的注意事項

当館 HP の「安全の手引き」に掲載しておりますので、以下 URL をご覧ください。

https://www.auckland.nz.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzen_aucklandanzen.html

２ テロ・爆弾事件発生状況

NZ 政府は、国家テロ脅威度を 5 段階で示しているところ、2023 年 3 月末日現在の脅威度は「低い」（５段階中の下から２番目、テロ攻撃は現実的な可能性がある）となっています。

Likelihood assessment	Threat level
Terrorist attack is expected	EXTREME
Terrorist attack is assessed as highly likely	HIGH
Terrorist attack is assessed as feasible and could well occur	MEDIUM
Terrorist attack is assessed as a realistic possibility	LOW
Terrorist attack is assessed as unlikely	VERY LOW

最近では、ニュージーランドではテロ事件は発生しておりません。ただし、過去には以下のようなテロ事件が発生しておりますので、日頃から特に人の集まる場所におけるテロの可能性については警戒が必要です。

ア クライストチャーチのモスク 2 か所に対する銃撃事件

2019年3月、クライストチャーチに所在する2か所のモスクにおいて、銃撃事件が発生し、51人が死亡し、数十人が負傷しました。実行犯として逮捕された豪州国籍の男は、白人至上主義を主張する過激思想の持ち主で、逮捕時に軍用半自動小銃等を所持していました。事件後、NZ政府は銃規制を強化するなどテロ防止に向けた対策を推進していますが、国内には依然として多くの猟銃等が流通しており、引き続き、警戒が必要です。

イ オークランドのスーパーマーケット内における刃物使用襲撃事件

2021年8月、オークランド郊外に所在するスーパーマーケット内において、刃物使用数人事件が発生し、8人が負傷しました。実行犯はその場で警察に射殺されました。犯人はスリランカ難民で、ISILの過激思想を支持しているとして2016年から当局の監視下にあったとされています。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特に認知されておりません。